

21世紀へ地球を見つめて



題字・松尾金蔵書
発行
修猷館同窓会東京支部
事務局
東京都新宿区四ッ谷3-9
光明堂ビル9階
富士総合法律事務所 内
☎03-353-4770

写真提供
宇宙開発事業団NASDA
東経約百六十度、高度三万
六千キロメートルに置かれ
ている静止気象衛星GMS
「ひまわり」によって撮影
されたものです。

心のふるさと

T15卒 斎藤 孝磨



第三十八回卒業で三八会を毎
春福岡で開きます。母校卒業後
は音楽の道に進み、音楽学校を
出てから若いうちはN響でヴァ
イオリンを奏き、長じては横浜
国大音楽科でヴァイオリンの教
鞭をとって三十年、現在も湘南
に定住して音楽塾を開いていて
永年音楽に明け暮れた生活で所
謂音楽バカの部類、会報に物を
書くような柄ではないのですが
編集の方から何か昔の事でもと
上手に水を向けられますと、大
正の名館長白坂(敬略)はじめ
益田清水若月横田各先生方の面
影が次々に懐かし胸に浮かん
できます。
帰郷の度に母校を訪ねてみ
ますが、正門から構内を眺め時
たま昔我堂で写真をとったりし
ますが内部の事情は知る由もな
く、六十余年の歳月を経た今日
ただ飛躍的に高度化した教育の
館となったであろうと想像する
ばかりです。
その昔、幾多の修猷健児が市
電の終点今川橋で電車を乗り捨
て、未舗装のホコリっぽい田舎
道を朴歯の下駄履き姿で闊歩通
学した西新町界隈のかつての鄙
びた町並みはいつの間にか消え
てなくなり、最近では地下鉄の走
る近代都市風に衣替えして世の
中の移り変りの烈しさに驚きま
す。
時流の産物か数年前母校の移
転問題が起き、幸にして後日事
なきを知りましたが、母校は卒
業生の心のよりどころ、何時ま
でも変わらないでいて欲しいも
のです。

修猷館風

S4卒 有吉 新吾



私どもは昭和四年の卒業に因
んで尚志会という同年会をもつ
ており、東京では毎年年末に二十
名ばかりの同級生が集まって忘
年会をやります。お互いに八十
に近い皺くちやの顔の中に中学
時代の紅顔の面影を見出しては
懐旧の情を新たにしております
が、これは数年を同じ学舎で共
に過ごした仲ですから当然のこと
ですけれども、同時に当時質
朴剛健とか和魂洋才といった館
風に培われた共通の精神土壌が
あることも一つの理由であるよ
うに思うのです。
ところが戦後はそういう伝統
の精神土壌が崩れ去り、学生の
気風も意識もすっかり変わって
仕舞って、今の若い人達は私ど
もには手のとどかない存在に
なった感があります。しかし、
にもかかわらず、そういう人達
にもかかわらず、

昭和初期の頃

S8卒 小野 衛



私が修猷館に入ったのは昭和
三年であるからもう六十年も前
の事になる。まだ子供だった私
にはよく分らなかったが、第一
次大戦の後の好景気はもう終
わってしまっていて、世は不景気
であつたらしい。「大学は出たけ
れど」というような映画がは
やつた時代であつた。
私が修猷館に入学した昭和三
年は昭和天皇の御即位式が行わ
れた年でもあつた。御即位式の
時、主基殿で使われるお米を作
る役を福岡県が命じられて大騒
ぎだつたのを覚えている。そし
て世情は次第に騒然となつて
行つた時代で、浜口首相が東京

図書紹介

- 『ワールドウォッチ
地球白書』 L・R・ブラウン編
(ダイヤモンド社)
- 『地球環境白書』 石弘之著
(岩波新書)
- 『オゾン層を守る』 環境庁検討会編
(NHKブックス)
- 『熱帯林の生態』 吉良龍夫著
(人文書院)

昭和三十年卒 山内 豊徳
(環境庁)

第一生命保険 東京修猷会有志

東京都千代田区有楽町1-13-1
TEL 216-1211

さんぱち会

(昭和38年卒)

平成2年総会多数
御参加を!
一 同

四、輸送量……約十八・九億トン
(他に自家用約三十一・六億トン)
五、輸送電・キロ……約千三百七十億電・キロ
(他に自家用六百八十億電・キロ)
六、事業収入……約六兆六千億円
以上であるが、元来、自由主義市場経済の競争原理に耐えぬいて今日を築いている企業集団が即ちトラック業界であり、冒頭に掲げた大変動の時代をどの様な戦略で切り拓いて行こうとするのだろうか、誠に重大な時機だけに注意の関心を抱かざるをえない。

いわゆる陸運業界の雄といわれる大企業・主力企業は殆どといってよい程、総合輸送業の営業体制をとっている。即ち輸送に関する限り、陸も海も空も総てを網羅しようという戦略である。さらに輸送のみならず、各種の物流サービスを提供し、荷主の物流ニーズに、物流のシステム化を図る体制、即ち「総合物流業者」としての基盤を形成せんとする機運が濃厚である。

最後に本稿の結論に到るために最も注視せねばならぬことは、宅配業の今後のあり方であろう。クロネコヤマトの宅急便として颯爽と登場したヤマト運輸は、さしもの日本通運をも寄せ付けず、向こうところ敵なしの意気盛進中である。同社の小倉社長は、自社の企業発展を「世代論」として展開しているが、第一、第二世代は荷主から命ぜられて物を運ぶ、単なる運び屋の段階から、保管・梱包・物流加工まで拡大した、いわゆる物流世代であるが、未だ荷主主導の世代であり、第三世代で初めて物流をシステムとして、即ち商品として売ってゆく世代であり、物流業主導の世代に入ったとしている。小倉氏は自身の活躍はここまでであり、後は第四世代を担う後継者に待つと宣言している。

第四世代とは、物流業者が物流を基盤としながら物流を超える段階であるという。全国ネットを持つ宅配業者が自分で商品を扱う、即ち輸送・情報・販売を統合した「総合物流商社」になりうることを考えるわけだ。夢はさらに膨らんで、ファクタリング(売掛債権買取業務)からノンバンク・バンキングまで行けば、将来は物流企業が日本のリーディング・カンパニーとして君臨する日を期待するものもあながち荒唐無稽の戯言とはいえない迫力を感ぜずにはいられない。

いずれにせよ、平成時代の物流の世界は、宅配業の一角から大旋風が吹き荒れるのではなからうか。

転換期の青春

笠 耐 (S27卒)

朝九時にブダペストの空港に着く。アナウンスの音が私の名を呼んでいる。インフォメーションに行くと、二人の少女が待っていた。国際会議の現地の実務を一手に引き受けている高校の女教師エステル・トスの生徒だという。先生の依頼で授業を抜けて私達を迎えにきたのである。わかりやすい英語ではきはきと説明して、タクシーでホテルまで案内してくれる。ハンガリーの大きな湖巴拉トンの湖畔のホテルで開催されたエネルギーに関する国際会議は、四十カ国余りの国々から三百人近い参加者があり、原子力、核融合、太陽エネルギー、水力等のエネルギー利用と環境問題等、リスクとの関係、教育の問題、先進国と発展途上国との問題等々、プログラムも盛りだくさんで充実していた。しかし、その中でとくに印象的だったのは、トスの生徒たちの活躍であった。全世界から集まった専門家の前で、ハンガリーの高校生たちは環境放射能で今話題のラドンの収集と放射能測定を行い、自作のプログラムでコンピュータを駆使して解析し、その結果を堂々と議論した。その創造力豊かな若きサイエンティストたちの自信に満ちた報告、専門家の講演に熱心に聴き入る旺盛な好奇心、閉会のときにも問われると臆せず、流暢な英語でこの会議の感想を語った高校生たち、かれらとその教師との関係に、四十年昔の修猷館時代をふと懐かしく思い出した。

運動場から松林を通り、青い海へと自由に駆け抜けて行けた時代。わたしたち生徒が自立すべき人間として、人格を認められ、対等に扱われ始めた時代。旧制から新制への教育制度の切り替えの真只中で、修猷館最初の女生徒として、思いつき青春の自由を謳歌できたわたしたち。それは転換期ならではの思われる数々の思い出に満ちている。主婦であれ、職業人であれ、既成の価値観に囚われず、自分の世界を切り開き、明るく楽天的に人生を送ることができたわたしたちを培ってくれたもののひとつが、自主独立の気風に満ち、生徒思いで見識が高い教師に恵まれていた修猷館であったことは確かであろう。



昭和26年ころクラスメートと

ペン掃除機と昭和のマドンナと

井上 孝代 (S38卒)

最近、糸井重里の「家族解散」を面白く読んだ。現在、文学の焦点が「家族」にあることは聞いていたが、今まさにそれぞれの家庭で、主婦が「今日で家族を解散します」と叫

社会変化と人間病

中田洋二郎 (S41卒)

元号が変わると時代も変わるのだろうか。ただそう意識するためかもしれないが、今年になってそんな感じのするニュースがありました。中国からの経済難民や観光ビザで働く外国人の話です。

日本は先進国だといわれます。私もそう信じていました。しかし、他の国と比べて欠けていたものがあつたようです。経済的な成功は、労働力を必要とし他国からの民族の流動という現象を生みます。そういえば、ヨーロッパやアメリカなどの先進国はどこも移民や人種の問題を抱えています。

日本も同じような問題を抱える時代になったのではないのでしょうか。経済難民と不法外国人労働者、このどちらもが現在の産業構造と深い関わりがあるとされます。それだけに外交や法的な措置では解決しない根の深い問題のようです。おそらく、私たちの生活にさまざまな影響を及ぼすでしょう。その点では、私になりわいとしている精神衛生の分野

んだら一体どうなるのだろう、と胸を揺すぶられる思いがした。

平成の世になるや、「女性の時代だ」「マドンナだ」と女性持ち上げの声が一層高まっている。事実、満面笑みの女性国會議員の勇姿をテレビで見たりすれば、女子大生亡国論華やかなりし頃に学生時代を送った身には「世の中変わった」の隔世の感がある。では、ここで「頃や良し」とマドンナ印の旗の下に世直し目指して馳せ参じれば良いわけだが、どうも今ひとつ元気がでない。

同世代の友人が言った。「私達って進学もできて右手にペンは持ってたけど、いつも、左手には掃除機を持ち、家庭を守ってこななければならなかったのよね。確かに女性の生き方の意識を目覚めさせたくは手に入れたが行動に移す機会もないまま有効期限が過ぎてしまったような、そんな気がする。その意味で我々の世代の女性は、ちょっと古風な昭和のマドンナだったのかも知れない。そして、平成と号が変わったからといって、女性の生き方が根本から変わるはずはないと思っ

厚生白書には、高齢化社会における老人介護者の八〇％は女性であるとし、老後の問題は女性の問題と示されている。また、母親が働きだしたため、食事もままならなくなった子どもたちが既成弁当を買いに行く(コンビニエンス・チルドレン)として、母性喪失を訴える報道も目につく。女性が社会で求められている役割が決して変化しただけではないのだ。「女性の時代」と掛け声をかけられても、なかなか動きだせないのはそのためである。今の状態で、掛け声のままに男性と同じく走りだせば、家庭と仕事と、何よりも自分自身に疲れ果て、きつと「家族解散」を叫んでしまふに違いない。

女性の時代と言われること自体は悪くはない。ただ、急に、状況を整えないうちにそうおだてられることとまどいを感じるのだ。むしろ、男性だ、女性だとは抜きにして、平成は「人間の時代」とでも言っても良かったほうがすっきりする。人間の個性を十分発揮できる時代、それがたまたま女性だったなら、女性としての特質を發揮できるようにしたことはない。相変わらずペンと掃除機を両手に持ちながら、うつうつとこんなことを考える頃である。

にも大いに関わりのある問題です。これまでに経験のない変化はそれが急速であれば、一種のストレスとなります。ストレスとは最近ではよく耳にする言葉です。たとえば、「受験戦争のストレスをなくすために入試制度の改善が必要である」などといまです。本来はある生理現象を意味した用語が、なぜこんな一般的な言葉になったのでしょうか。社会の変化とこの不適応の関係を証明するのは至難のことです。しかし、ストレスという言葉を使った、その関係が自明のことのような印象を与えます。多少、便利に使われ過ぎていくようにも思われます。

ストレスの概念を最初に紹介したのは生理学者のセリエでした。一九三六年のことです。セリエは鼠に卵巣の抽出液を注射し、偶然に副腎皮質ホルモンが増加する現象を見つけた。新たなホルモン作用を発見したと喜んで彼は、その現象を引き起こす物質を見つけたために実験を続けました。結果は徒労に終

わりました。しかし、予期せぬことが見つかったのです。それはどのようなものを注射しても、また針で傷つけるだけでも同じ現象が生じるという事実でした。それがストレスの発見だったのです。

ストレスとはもともと外からの異物や危機に対する生理的な防御反応を意味します。この反応は種の歴史のなかで作られられた遺伝子によって引き継がれてきた生理的な知恵といえるでしょう。社会をひとつの身体に例えたと、社会の急速な変化はセリエの鼠の注射針のようなものです。しかし、残念なことですが、私たちはまだ適切な反応のしかたをしりません。今後の社会変動にどう対処するか。それはとても難しい問題です。しかし、ストレスにたいして生体のあらゆる機能が働くように、急速な社会変化に対処する機能をさまざまな分野で育てていかなければなりません。そういう時代になったとつくづく感じます。

東邦生命保険
東京修猷会有志

〒150 東京都渋谷区渋谷2-15-1
TEL 499-1111

運輸省
東京修猷会有志

〒100 東京都千代田区霞が関2-1-3
TEL 580-3111

厚生省
東京修猷会有志

東京都新宿区市ヶ谷本村町7-3
TEL 260-3181



■車を停む 1932年(昭和7年)制作
北九州市立美術館蔵

中村研一記念美術館の開設

君島 芳郎 (S17卒)

昭和十四年十一月、大正三年卒業の三輪寿壯、中村研一、徳重英助三氏の講演会が修猷館で行われた。当時三年在学中だった私はこの講演会が中村研一氏との出会いであった。しかし、中村研一画伯の名前はその後、七年前から聞き及んでいた。その頃、福岡日日新聞(現在の西日本新聞)の主催で中村研一画伯による油画の講習会が毎年夏休みの時期に福岡で開催され、その講習会に私の姉が三年続けて参加したことによるのだろう。

その後大東亜戦争中に、朝日賞を受賞した「コタ・バル」を見た時の非常な感激は今でも忘れることはない。

中村研一画伯が亡くなってからもう二十二年の歳月が経過した。この間、福岡や北九州の美術館で、また母校の修猷館で何度か氏の作品に接する機会に恵

まれたものの、思い出は段々と薄れてきていた。

ところが平成元年五月の二本会で、武蔵小金井駅の南口からほど近い所に中村研一記念美術館が開館されると知らされた。我が家から近くもあり、昔の恋人との再会を楽しむが如く、開館直後から半年足らずの間に五度美術館を訪れている。

美術館は、昭和二十年に代々木のお宅が空襲で焼失したあと、転居された小金井市中町の武蔵野の風景をそのままに残した約三千平方メートルの邸内に、八百七十平方メートルの二階建ての殿堂が建てられている。一階には約五十点の油絵が陳列されており、二階は約三十点のデッサンや、画壇の友人の書信など興味深いものの展示にまじり、画伯の手になる陶芸品が数十点陳列されていた。寡聞にして、

平成二年を明るく

東京修猷会会長 松尾 金蔵 (S4卒)

明治四十五年元旦生まれの私は大正・昭和・平成と四代をわたってきたことになりました。まさに「激動の昭和」を過ぎて、平成元年はまた内外ともに、激動の一年でした。

異常な政治の中で、内閣は一年の間に三転してなお不透明と云われ、激震の海外情勢は、政治・外交・経済の全般に、まさつと不安定な状況です。無論、ひどい混乱もあります。何かもつと明るく楽しい話はありませんか。日本はいくつでも、恵まれているんだと言わねばならぬ

氏が戦後九谷焼の徳田八十吉氏や備前の金重陶陽氏と親交があり、自らろくろを回した事など今回初めて知った次第である。

この美術館の建設には、全財産を寄付して財団を設立する等未亡人のお力が大きかったと聞き、先日お訪ねした。先ずお若いのに一驚、お話を聞いて中村家の家柄の良さを痛感した。父親の援助で美校在学中からアトリエを構えたという恵まれた一語に尽きる中村研一画伯ではあるが、父親の故郷の宗像でお祖母様に厳格に育てられ、修猷館で学んだ少年時代が氏を日本を代表する画家にしたのではないかと思ったりした。



美術館の前に立つ中村画伯夫人

文化

豆本趣味

坂本 一敏 (S5卒)

人には色々の趣味がある。ここに私が述べる豆本の趣味は主として本の好きな人のなかに多い。それでは豆本とはどんなものか。日本では江戸時代にはじめて出現した小型本であるが現在われわれがコレクションの対象としている豆本のサイズは一応ハガキの半分の大きさ(10×7cm)位までの小さな本である。最小は一・四ミリ角の超豆本もある。現在日本の各地では十数種類の豆本が定期的に或い

は単発的に刊行されている。いろいろな形の豆本があり、三角形の豆本があるし丸型やペンダントの豆本もある。

豆本は主として個人や趣味の会が刊行しているもので、営利を目的とした本は少ない。従って発行部数も限られている。せいぜい多くても五百部前後である。広告もしない。豆本は刊者の趣向によりいろいろな造本工夫を凝らし内容、装丁とも非常に変化に富んでいて日本の出版



文化史上、特異な現象である。日本の各地で刊行されている豆本には地方色豊かな個性がある。そのため豆本の名も地方名を冠しているものも多い。例えば「あぞまめほん」「青森豆本」「みちのく豆本」「埼玉豆本」「名古屋豆本」「九州豆本」「豊前豆本」等々北は北海道から九州までに及ぶ。土地の名を冠しない豆本を加えると大変な数になる。

内容は小説、詩歌、句、郷土史、随筆などあらゆる分野に及びバラエティがある。色々な独創的な装丁があり、従って読んで面白く読めるところ、しかも保存に場所をとらないので助かる。空箱や引出しの中に多数の豆本が収まる。

豆本は人生にとってどれだけの効用があるかという愚問にたいしては、無用の用であると思答するより仕方がない。とにかく病みつきならなかなか治らないのが豆本病である。神田の吾八書房、東京堂書店や丸善などに豆本が置いてあるので関心のある方は覗いてみられるとよい。

随想

ある女流作家(彼女も中老以上かと思えます)が、日本の男性中老以上は、とかくベシシミスティックに過ぎると誌上対談していました。世の中はこれで昔よりは良くなったし、これからもっとよくなるうとしてるんですよ。私もそう思いたい。それでも明治生まれの私が、独り言で考えていると、どうも悪い方に考える心配症になりがちである。しかしわが東京修猷会は、昭和

とあるのを見て、私自身は大いに元氣になりました。

「一葉散る咄ひとはち風のうしろ」とあるのを見て、私自身は大いに元氣になりました。

新しい平成二年に大きく希望を託して、私の繰り言ごときは吹っこんでしまふことを願うものです。歳時記の片隅に嵐雪の句、

新に国政を目指している人は、常に地元にあつて、毎日、朝から晩まで丹念に選挙区を廻り、どんな人たちと何度でも握手をして「自分を印象づけよう」とそればかりをやっている。その分だけ新人の方が選挙民にとって、より身近な存在として受けとめられるという現象が

生じている。ここに、多忙な現職議員の陥し罪があるようだ。国政に携わって十七年、中央では順風満帆、確実なステップで地歩を固めてきた「拓さん」には、「一身を国家国民のために」に摺り減らしても悔いなし」との信念をもって国政に専念してきた自負がある。

それ故に「この俺が、福岡一区選挙民の支持を失って落選などする訳がない」と頑に思いこんでしまうのも当然だろう。

福岡の巷では、

「拓さんは有名だから大丈夫」「今度は新人の後援会に行っちゃろうと思うとる」との声が溢れている。

拓さんの秘書たちでさえ、「うちの先生が一番強か」と、などと、横着な口をきいている。それもその筈で当の拓さんがすっかりそのように思いこんで日頃からそんなことを口にしてるものであるから……。

昔から「選挙は水もの」といわれた。過去の実績は忘れて再び一から気持ち、新人が初陣に臨むような覚悟でもって当たらなければ勝ち続けることは難しい。自重と健闘を祈る。

政治家の陥罪

阿部 公明 (S31卒)

政治家と選挙民との関係は、なかなか微妙なものである。選挙民としては己の一票を行使する時には、清潔で立派な人、国民と国の将来のために献身的に働いてくれる人と思っ

ては、清く正しく、立派な人、国民と国の将来のために献身的に働いてくれる人と思っ

日本経済新聞社 東京修猷会有志一同

〒166 東京都千代田区大手町 1-9-5
TEL 270-0271

「パソコン」の
わかりやすいマニュアルを追及し続ける、
テクニカルライター集団。

代表取締役 倉本 義介
(昭和40年卒)

株式会社 シー・ディー・エス
〒102 東京都千代田区三番町7-10
TEL03-237-8290 FAX03-237-7095

'89 総会報告

事務局 長 測上貫之 (S26卒)



総会風景

(撮影 大森正憲氏 S29年卒)

平成元年六月三日、恒例の総会がホテルグランドパレスに於いて開催されました。
森田澄夫さんの指揮により、館歌斉唱にはじまり、宮川副会長の発声で、他界された恩師や同窓生への慰霊の黙禱のあと、松尾会長よりの挨拶があり、集う館友五二四名は、今年も健康で、一堂に会し得た喜びを込め、会場一杯に響き渡る歓声で乾杯しました。
これに先立ち、今年は役員人事の改選期に当たると、向野元生氏(S29卒)が議長として、総会出席者全員にこれを呼かけ、満場一致で松尾金藏会長が再選されました。続いて松尾会長より、宮川一二副会長、測上貫之幹事長ほか副幹事長八名が任命され、さらに新しく限部、野上両氏が顧問に選出され、会の運営に当たることになりました。
今年の総会担当は昭和三十八年卒の皆さんでしたが、華やかな、女性だけの「みやらび」グ

ループによる祝いの太鼓が打ちなされ、楽しい雰囲気一段と盛り上がりつつ来た中、桑原敬一福岡市長(昭15卒)の挨拶と、福岡博覧会「よかトピア」の紹介がありました。
その後、盛大な福引きがあり、(一等はペアでJALの国内フリー券その他、豪華賞品)楽しい賑やかな懇親会となりました。最後に来年度総会の担当学年である、昭和三十九年卒の皆さんの紹介があり、この方々のリードで、応援歌「彼の群小」を斉唱し、めでたく総会の幕を閉じました。
なお、当日配布された職業別名簿は、昭和三十八年卒の担当学年及びその奥様の動員により作成されたものであり、大変な好評を博しました。
個性豊かな、楽しい今年の総会を、全力投球で成功させた中沢宣也実行委員長をはじめとする昭和三十八年卒業生の皆様方に対し心より感謝申し上げます。

祝 辞
宮川 一二 (S12卒)
さて、人生は幼、青、壮、老の四段階があると考えますと、青の時代に国務大臣になられたのですから、次の壮の時代には必ずや政治家として目指される総理大臣に、広田弘毅先輩の後を次いで、就任されることを願ってやみません。同窓生一同、出来る限りの応援をする覚悟であります。政治にも、修猷館魂と唱和いたします。

昭和63年度修猷館同窓会東京支部会計報告

I. 通常収支の部		金 額	
通 常 支 出	金 額	通 常 収 入	金 額
事 務 通 信 費	608,000	63 年 度 会 費 収 入	2,082,000
会 議 費	349,776	寄 付 金 収 入	516,925
コ ン ピ ュ ー タ 関 連 費	537,090	会 報 広 告 代 収 入	397,000
諸 経 費	18,140	銀 行 預 金 利 息 収 入	1,874
二 木 会 補 助 金	644,219	有 価 証 券 配 当 収 入	231,166
会 報 作 成 費	1,299,552	通 常 収 支 不 足 金	227,812
計	3,456,777	計	3,456,777
II. 特別収支の部		金 額	
特 別 支 出	金 額	特 別 収 入	金 額
中 国 フ ァ ン ド 税 金	117,211	名 簿 売 却 収 入	77,600
職 業 別 名 簿 デ ー タ 調 査 費	506,000	総 会 剰 余 金 収 入	1,112,903
特 別 収 支 剰 余 金	567,292	計	1,190,503
計	1,190,503		

会計担当副幹事長 山 本 博

▼一月 柴崎 浩 S33年卒
国立精神神経センター
神経研究所疾病研究四部長
「脳の働き」
「脳の働き」ときたので「アタマをハッキリさせる方法はないか、物忘れを直す方法はないかなど」と身につまされる質問が出た。講師に言わせると、そんな方法があったら真先に自分が試している。記憶を良くしたかったら、それが身に着くまでしつこく反復するしかない。香崎 温子
▼二月 高岩和雄 S12年卒
ITK社(工学博士)
総合労研インターナショナル
「あなたの海外異文化」
「適応性を考える」
カルチュア・コミュニケーションがあなたの海外異文化適応性を増大します。海外に出かけてあなたが遭遇する文化摩擦の数を再現し、現地の文化に適応したあなたの対応を伝授いたします。海外に活動拠点を移すために出かける日本人は現地の人の共感と共鳴を引き出さなければ現地進出企業の繁栄は望めません。高岩和雄
▼三月 伊藤正孝 S30年卒
朝日ジャーナル編集長
「リクルート事件」
果たして犯罪なのかどうか、リクルート事件は新種の錬金術としてさまざまな議論を巻き起こした。この事件を新しい上流階級形成の動きとしてとらえたのが本講演である。政財界にまたがった事件関係者は、徒手空拳から身を起した人々であり、戦後平準化していた社会の格差拡大と事件発生との時期が一致していた。伊藤正孝
▼四月 箱島信一 S31年卒
朝日新聞社経済部部長
「平成元年経済展望」
昭和六十一年十一月以来、上昇局面にある、景気のけん引力となつてゐるのは、設備投資と個人消費だ。内需依存型の好況であるだけに、景気の腰は強く少なくなると来春までは、今の調子が持続するものと思われる。ただ中長期的にみると、世界経済に波乱要因は多く、うまく調整して行かないと、日本経済もその大波をかぶることになりかねない。阿部公明
▼五月 田中清士 S37年卒
NHK社会部副部長
宮内庁記者クラブ
「昭和の終った日」
宮内庁詰の田中清士君が「昭和の終った日」という題で、皇室取材三年の経験、特に昭和天皇御発病以来の興味あるエピソードを語った。皇室に対しては、無関心な演者も、いろいろな場面で見たと昭和天皇個人の真摯な御人格には、感銘したという話は印象深かった。小野寺夏生
▼六月 牛尾恭輔 S37年卒
国立がんセンター病院
放射線診断部部長
「地球の進化の歴史と癌」
癌のほとんどは、良性でありこれは誰にも、どこにもあることなど、このような人間に宿命的な癌は、地球及び生物の進化と深く結びついていると、考えられることを、多くのスライドを使って興味深く説明した。小野寺夏生
▼七月 渡辺俊介 S38年卒
日本経済新聞社論説委員
「海部政権と消費税について」
今度の総選挙においては、社会党の候補者が出揃わない時期に行われ、自由民主党が過半数を制する公算が強い。そうなれば、海部政権は長期化する。また、消費税については、有識者の支持が高いことから、自由民主党主導の見直しで定着が図られる可能性が大との見解が示された。福田忠彦
▼八月 平木英人 S30年卒
唐木神経内科クリニック
副院長
「ストレスと現代人」
ストレスによつておこるさまざまな心身の不調は、個人の能力を低下させ、ひいては自律神経失調症やうつ状態などの病気の原因ともなります。ストレスに対する反応の仕方、即ち性格の長所弱点を知り、ストレス病の発症のからくりを知ることが、現代社会を健康に生き抜いていくための知恵であり、明日への活力の源でもあります。中尾大三
▼九月 中尾大三 S30年卒
二木会担当副幹事長
現代を反映してか、昨年の講演内容には「健康」に関するものが多かったようです。ことしもまた様々な講演が行われるものと期待しています。多数のご参加をお願いします。

自律神経失調症
心療内科・理学診療科
唐木神経内科
クリニック
院長唐木秀夫 副院長平木英人 (S30年卒)
JR線・地下鉄・バス・四谷駅前 ☎(03)353-7511

システム・メディア(株)
(株)メディア・スペース
代表取締役 衛藤 毅 (昭和38年卒)
〔東京〕 〒160 東京都新宿区西新宿 7-5-6-907
TEL 03-369-1588代/FAX 03-361-0807
〔関西〕 〒550 大阪市西区西本町 1-11-1-702
TEL 06-536-2721

学年だより



【昭和十二年卒】

去る五月二十日博多で全体クラス会が催され、総勢六十余名が出席、東京からも八名が参加しました。折からよかトピアの開幕中で久し振りに母校の姿を眺めながら見学してきました。東京修猷会もこの暮れに例会を開く予定です。丁度みな古稀の前後ですが、それぞれ事情を抱えながらも元気に暮らしています。

(片桐貞夫)

【昭和十三年卒】

平成元年十一月現在(原稿締切り月)のクラスメートの動静は、吉野道夫君と水戸鉄夫君が体調整わず入院加療中、八木謙三君の訃報もあり、最近はまだ自宅静養中を含め故障者が散見されるので各位の自愛を祈るやう、平成二年度は吾等古稀を迎える故、福岡にてクラス会総会を開くと聞く。前回の卒業五十一年の記念総会同様、在京有志の多数出席を願う。

(小川二生)

【昭和十四年卒】

卒業五十周年記念同期会を昨年五月二十九日、福岡で開催しました。出席者五十二名、うち東京から九名が参加。当日午後三時から著我記念館で慰霊祭、六時から大濠荘で恩師伊東先生、現館長亀谷先生をお迎えして懇親会を行い、翌日はゴルフ会と太平洋博見学に分かれ、楽しい一日を過ごしました。東京同

期会は毎年九月十三日に開いています。

(野村俊雄)

【昭和十六年卒】

それぞれが第一線を退き、第二、第三の道を歩まれていることは強い次第です。平成三年に迎える卒業五十周年記念五三会(ゴングー会)は、元気で一堂に会することを楽しみにしています。

(一万田満州)

【昭和十七年卒】

いそみ会は年一、二回、福岡本部、東京関西各支部毎に行っている同窓会に本支部相互に参加しあい、相互交流の実を上げています。去年はよかトピアの見物を兼ね東京から九名が福岡を訪ねました。東京でも中央線沿線の有志が年四回、吉祥寺に集まり盃を傾けています。参加希望の方は幹事までご連絡ください。

(浜田悠紀雄・高向賢一)

【昭和十八年卒】

先月、仲村慎孝君が亡くなった。ガンである。今年には先輩、友人の葬式がやたらに多く、これで七回目である。私も十八回も郷里に引きあがる人も含め、だんだん寂しくなってきた。もう、こうなれば健康第一である。十月末、四国の金比羅山に登った。八百段近い石段を上れたので、まだまだと安心して居る。老いは足からと言われている。努めて歩くこと肝要と心がけて

(三木善文)

【昭和二十年卒】

実践会では、在学中の思い出を綴った単行本「戦闘帽と青春」―春風秋雨六十星霜―(華書房発行、三百六十七ページ)をこの程自費出版した。我々の学年は太平洋戦争が始まった昭和

(佐久間信久)

【昭和二十六年卒】

大漫画(オーマン会)も発足三十周年を迎えました。顧みま

(松尾正弘)

げ「オーマン」に因んで命名し

和十六年に入学、終戦の年に四年で繰上げ卒業するまでの間、黒い学帽をかぶることなく戦帽で通した唯一の学年であり、しかもその多くの期間を全員が勤労動員へ、またかなりの学友が軍隊へと得難い経験を持つ学年であるが、この当時の記憶を風化してしまわないうちに記録にとめておこうと昭和六十年の卒業四十周年記念事業として計画したものである。毎年十一月三日に福岡で開催している実践会の今年の総会で会員に頒布したが、会員以外の希望者にも一部千五百四十五円で販売されることになっているので、入手希望の方は幹事まで連絡された

(野上・田中)

【昭和二十一年・二十二年卒】

東京破竹会は、毎年十二月に在京者による忘年会を開いているが、それよりも、このところ全国総会が一昨年の京都、昨年は東京、今年はよかトピアの福岡と続き、来年は花と緑の万博大阪でということに決まった。五年おきだった総会が毎年となり、女房同伴もふえてきたのは還暦を迎えての人恋しさのためであろうか。

(伊藤輝夫)

【昭和二十三年・二十四年卒】

この一年間、六〇会(ロクマル会)には、大きな変化はない。即ち、一、誰も死ななかった。二、大きな病気をした者もない。三、教員・自営業者以外のいわゆるサラリーマン生活をしていない者は、まず第二・第三の職場に移った。「今なんていうところに、行きようとするか」である。

(佐久間信久)

【昭和二十六年卒】

大漫画(オーマン会)も発足三十周年を迎えました。顧みま

(松尾正弘)

【昭和二十六年卒】

大漫画(オーマン会)も発足三十周年を迎えました。顧みま

(松尾正弘)

【昭和二十九年卒】

平成元年はわれわれにとって東京六八会卒業三十五周年の記念すべき年となり、一泊旅行を九月九日伊豆長岡JRあやめ荘、翌十日は東洋醸造大仁工場見学など、修善寺周遊を二十二名の参加にて実施しました。記念総会は十月二十日、新宿センタービル52F大成クラブに、恩師ダ

(吉田周弘)

【昭和二十七年卒】

あけましておめでとうござい

(古賀新二)

【昭和三十一年卒】

多忙の仲、遣り繰りをして集まる機会を作っています。在福岡の篠田栄太郎君を招き、立候補の励ましを行ったり、グループ毎に集まり楽しい一時を過ごしています。十二月には忘年会を開きますので多くの会員に集

(田浦清子)

【昭和二十八年卒】

本年六月猷友会の会長の島田稔君がガンのため急逝いたしました。修猷時代から生徒会長をつとめるなど常に人の世話をするのが好きな人でした。心からご冥福をお祈りします。いっぽう田中憲明君が福岡四区から民社党の候補者として衆院へ立候補することになりました。彼は防大一期生で三十三年間にわたる自衛隊を空将補を最後に退官しました。北九州の皆さんの応援をお願いします。

(松尾正弘)

【昭和三十三年卒】

昨年卒業三十周年を記念した修学旅行「サザンクロスの旅」で旧交を暖めた。今年は十一月二十五日大阪の新阪急ホテルで行われる近畿修猷会の幹事を三十三卒が引き受けるので、東京修猷三十三会からも十数名が応援にかけつける。福岡からも十数名出席とのことで甲子園近くの網引旅館で行う二次会兼同窓会で旧交を暖めるのを楽しみにしている。

(滝口勝)

【昭和三十四年卒】

平成元年五月二十日、卒業三十年を記念する三思会総会が母校修猷館の善義堂において華々しく挙行されました。参加者総数百余名、大盛況でした。詳細は記念誌に掲載。恒例の東京三思会忘年会は、今回から東京修猷会総会に併せて開催します。平成二年六月二十三日の予定です。奮ってご参加ください。

(松本秀三)

【昭和三十五年卒】

本年は修猷館卒業三十周年を迎えますことご承知のことと思います。九州にて、三十年会を地元の有志が企画開催してくれることになっています。卒業三十周年目は単なる通過点ではありませんが、会合には沢山の方に出席されますよう望んでいます。

(福井健二郎)

【昭和三十六年卒】

東京へもどった人、石井嘉昭(建設省)・広田教一(整備公団)・日高久男(防衛庁)・田崎井穂(昭和電工)・福岡へは、雨宮真人(NTTから九大教授)・吉次晃二(よかトピアから福岡貿易情報センター)。アメ

(久保田康史)

【昭和三十七年卒】

昨年は総会幹事学年の翌年というところで特に何もありませんでした。しかし、六月の東京修猷会総会には約十五名が顔を見せ、二次会、三次会を楽しみました。また、二本会には五月に田中清士君(NHK)が、七月に牛尾恭輔君(国立がんセンター)が、それぞれ興味ある話題を講演しました。今年は気楽な集まりをしたいと思います。

(小野夏生)

【昭和三十八年卒】

あけましておめでとうござい

(中澤宣也)

【昭和三十九年卒】

卒業以来二十五年がたち、いよいよ我が学年が東京修猷会平成二年度総会の幹事を引き受けることになりました。九月二十九日にさんば会の皆様から引き継ぎを受け、仕事の多さに驚くとともに、先輩の皆様のご苦

(久保田康史)

【昭和三十九年卒】

卒業以来二十五年がたち、いよいよ我が学年が東京修猷会平成二年度総会の幹事を引き受けることになりました。九月二十九日にさんば会の皆様から引き継ぎを受け、仕事の多さに驚くとともに、先輩の皆様のご苦

(久保田康史)

【昭和三十九年卒】

卒業以来二十五年がたち、いよいよ我が学年が東京修猷会平成二年度総会の幹事を引き受けることになりました。九月二十九日にさんば会の皆様から引き継ぎを受け、仕事の多さに驚くとともに、先輩の皆様のご苦

(久保田康史)

【昭和三十九年卒】

卒業以来二十五年がたち、いよいよ我が学年が東京修猷会平成二年度総会の幹事を引き受けることになりました。九月二十九日にさんば会の皆様から引き継ぎを受け、仕事の多さに驚くとともに、先輩の皆様のご苦

(久保田康史)

【昭和三十九年卒】

卒業以来二十五年がたち、いよいよ我が学年が東京修猷会平成二年度総会の幹事を引き受けることになりました。九月二十九日にさんば会の皆様から引き継ぎを受け、仕事の多さに驚くとともに、先輩の皆様のご苦

(久保田康史)

【昭和三十九年卒】

卒業以来二十五年がたち、いよいよ我が学年が東京修猷会平成二年度総会の幹事を引き受けることになりました。九月二十九日にさんば会の皆様から引き継ぎを受け、仕事の多さに驚くとともに、先輩の皆様のご苦

(久保田康史)

【昭和三十九年卒】

卒業以来二十五年がたち、いよいよ我が学年が東京修猷会平成二年度総会の幹事を引き受けることになりました。九月二十九日にさんば会の皆様から引き継ぎを受け、仕事の多さに驚くとともに、先輩の皆様のご苦

(久保田康史)

【昭和三十九年卒】

卒業以来二十五年がたち、いよいよ我が学年が東京修猷会平成二年度総会の幹事を引き受けることになりました。九月二十九日にさんば会の皆様から引き継ぎを受け、仕事の多さに驚くとともに、先輩の皆様のご苦

(久保田康史)

【昭和三十九年卒】

卒業以来二十五年がたち、いよいよ我が学年が東京修猷会平成二年度総会の幹事を引き受けることになりました。九月二十九日にさんば会の皆様から引き継ぎを受け、仕事の多さに驚くとともに、先輩の皆様のご苦

(久保田康史)

【昭和三十九年卒】

卒業以来二十五年がたち、いよいよ我が学年が東京修猷会平成二年度総会の幹事を引き受けることになりました。九月二十九日にさんば会の皆様から引き継ぎを受け、仕事の多さに驚くとともに、先輩の皆様のご苦

(久保田康史)

企画・制作・演出 音楽芸能者派遣
ピアノ・エレクトーンの販売、リース、レンタル
アーティストの育成

有限会社 **サンピアノ社**

代表取締役 磯 悌 爾(昭29年卒)

〒108 港区高輪3-23-14シャトー高輪902
TEL 440-0619 FAX 449-0750

貿易
海水産物 手すき紙 雑貨 他

宮川企業株式会社

社長 宮川 一二(昭和12年卒)

〒105 東京都港区芝2-5-7
芝Jビル
TEL 03(455)6701
テレックス 242-6784 SIBMYK.....J
ファックス 798-1793

FORA[®]
INNOVATIONS IN VIDEO
and AUDIO TECHNOLOGY

代表取締役 **清原 慶三**

株式会社 朋栄 〒160 東京都新宿区西新宿3丁目2番5号 富山科学ビル
TEL 03-346-0591(大代表) FAX 03-349-8556

〒104 東京都中央区銀座5-4-5(萬寿園ビル3階)
電話 03(571)6280



中国では、古来人生の四つの
歓びの一つに
故郷を遠く離れた土地で
懐しい友人に出逢う—
ことをあげております。
地理学的には近い、当地中国

北京の空の下に

北京もイロイロな意味で、まだ
まだ遠く、不便の多い所といえ
ますが、そのような所で一昨年
昭和六十二年六月、母校修猷館
を語りあう会が発足しました。
発足時のメンバーは、

の六名でした。
昨年四月に太田、吉村両氏が
帰国され寂しくなりましたが、
五月に藤井新一(S44卒) 全日
空)氏が赴任され、現在五名の
北京修猷会となりました。

久保 久(S30卒 日本航空)
太田 茂(S43卒 日本大使館)
入江邦洋、吉村由美夫
(S43卒 サントリー)
庄野直之(S57卒 住友商事)
還田 宏(S59卒 日本たばこ)

昨年六月四日を頂点とする動
乱により、三千人といわれた北
京在住の日本人のほとんどが帰
国を余儀なくされましたが、現
在ではその八割が北京に戻り、
同窓生も全員が仕事に復帰して
います。
同窓生は家族ぐるみの夕食会
や二カ所のゴルフ場、四カ所あ
るカラオケ・スナックに寄り合
い「海の内外、陸の涯……」と
館歌斉唱など意気軒昂。母校の

想い出を語り、福岡を語り、北
京修猷会の存続を確かめあつて
おります。
福岡といえば、北京には福岡
出身者が多く、福岡県人も結
成されております。勿論、この
場でも修猷健児は活躍し、久保
氏が会長、入江氏が副会長、私
還田が幹事長ということで、月
一回会合を開いております。
各種企業多士済々、情報交換
(かなり貴重な情報が多い)や
親睦を深めております。
修猷館の同窓生の方、老若男
女を問わず、北京にお立ち寄り
の際はぜひご連絡ください。
北京修猷会一同「熱烈歓迎」
いたします。再見ノ

事務局だより

新年おめでとうございます。
▼会報創刊から早や一年が経ち
ました。お陰さまで、総会に出
席できなかった方だけでなく、
同窓会に興味をお持ちでなかっ
た方や会の存在をご存知でな
かった方などにも喜んでいただ
きました。これに励まされて第
二号発行の運びとなりましたが
今後とも一年一回の発行が可能かど
うかは、財政上の問題もあり、
ひとえに皆さまのお力添えしだ
いのです。

▼東京修猷会の活動状況と仕組
をお知らせいたします。

三、学年幹事会

随時開催。各
卒業学年二名の幹事が参集
の上、総会その他の議案を
協議いたします。

四、役員と担当

会長 松尾金蔵(S4卒)
副会長 宮川一(S12卒)
幹事長 洲上貫之(S26卒)
副幹事長
会報 田端千弥子(S27卒)
庶務 中沢郁子(S29卒)
二木会 中尾大三(S30卒)
会議 香崎温子(S33卒)
会計 岡村 浩(S35卒)
会計 山本 博(S36卒)
組織 古賀宗春(S39卒)
組織 田中俊男(S40卒)

編集後記

昭和はふるさとになり、
世界のうねりが高まる中で、ハ
ンガリーは「共産党よサラバ」
ベルリンの壁が崩れる大きな
節目、平成二年に会報二号とは
何かの縁だと思っております。

私は近畿修猷会の幹事長を命
ぜられて早くも十二年目を迎え
る。頭初、大先輩等の呼びかけ
で近畿にも修猷の炎を灯もそう
と企画したときは、遠く離れ、
戦後の繁忙の中にとすると青春
の地を忘れかけた懐かしさに
共感を覚えたのだらう、ホテル
の会場は立錐の余地もない程の
盛況に互に驚いたものである。
だが、こうしたものは単なるノ
スタルジアだけで組織は成り立
つものでなく僅か三年で出席者
二十七名という消滅の危機が
やってきた。関西はエリート
コースの通過地点でしかない
と言われる通り登録会員は約一
千名ありながらその中身の変化に
対応できる会則も会費もままな
らなかつた。常時、金策と徒勞



北京家族ぐるみの同窓会 近畿

近畿修猷会だより

幹事長 廣瀬 信夫(S26卒)

に走るばかりの幹事長役を私は
辞任したく、大先輩であり関西
の重鎮、元ユニチカ社長故原
吉平氏(S大6卒)、元クラレ会
長故仙石 襄氏(S大10卒)に相
談に参上した。ところが開口一
番「ばか!! 甘えるんじゃない。
お前が止めて誰がやる。やるん
だ!!」と一喝。この理屈になら
ない理屈が修猷理論であり、ま
た人や組織を動かす偉人等の迫
力であつたのか私は唯ひたすら
やるしかなかった。そして多く
の大先輩の協力を得ながら根本
的な運営改革を目指す内に、元
近大附属病院院長故陣内傳之助
(昭5卒) 会長が「同窓会を家
族ぐるみで!!」を打ち出し「修
猷近畿村」の発想が決まった。
お陰で結婚、就職、果ては下

宿の相談まで、この零細企業の
オヤジの私の所はちょっとした
「修猷村役場」である。こうし
た村民運動が功を奏さない訳は
なく年々各種イベントはもち
ろん、総会出席者も二百名前後
と増え本部からの来賓の方々
りお褒めの言葉も聞かれるよう
になった。現大阪工業大学教授
佐藤次彦会長(昭18卒)の情熱
もすさまじく予算ゼロの中から
名簿の整備と発行のノウハウを
披露、「近畿修猷新聞」を一千
四百名の会員に配布出来るよう
になった。

あのとき「ばか!! 甘えるん
じゃない!!」の大先輩の一喝が
いま、近畿修猷会の花を開かせ
ようとしている。

■東京修猷会の活動のすべては
会員の皆さまから納入される会
費によってまかなわれておりま
すので、ぜひ、ご協力をお願い
いたします。
年会費は三千円です。納入は
同封いたしました振込用紙でお

二、二木会 毎月一回、第二木
曜日、午後六時より、神田
神保町の学士会館で開催。
各界でご活躍の館友を講師
にお招きしての実りの多い
勉強会です。講師の選定は
今年度担当学年の福山忠彦
(S38卒)を中心に推薦され
ますが、聞きたい話題や講
師候補などありましたら、
二木会担当役員の中尾大三
(S30卒)または事務局まで
ご連絡ください。一月は筑
波大教授中川八洋(S38卒)
氏の「グローバル・新思
考」の世界戦略です。案
内状は、会費納入者のみに
お出ししております。

広告デザイン
印刷

(株)城弘印刷
〒164 東京都中野区中央1-1-3
代表取締役 中沢 郁子(S29)
☎03-362-6601

はらだ
よしあき

神奈川県から衆議院選挙を目指して
活躍しております。皆様応援してください。

選挙区 (神奈川二区)

川崎市、横須賀市、三浦市、鎌倉市、逗子市
葉山町(お知合いの方を、ご紹介ください。)

はらだよしあき後援会

*川崎本部事務所
〒213 川崎市高津区溝の口300エビスビル
☎044(844)4192(代)

*横須賀本部事務所
〒238 横須賀市衣笠栄町1-70 加賀屋ビル
☎0468(53)4192(代)

*鎌倉事務所
〒248 鎌倉市由比が浜1-12-15
☎0467(25)2001(代)